

道路網の確立を

市民とのつながりを密に

市民の声を市政に力をモットーとした市政懇談会は、最近観光開発で脚光を浴びる、岡豊町議事堂で第二回目を開きました。

当日は金堂市長と徳橋助役、それに市議連の西内県議も出席し、約五十人の地元民をかこんで、市長、助役から市政の置かれている立場の説明に、地元の人たちの悩みや要望などを語り合い、お互いに理解を深めこんだ市政に反映してゆくことになりました。

財政

潜在赤字で赤字解消のびる

財政面での引き継ぎが十分でなくそのため四、五月は暫定予算でゆかざるを得なかった。当初予算の編成に当っては、各課の要求額を一億一千万円と大幅に切り、総額七億三千万円（昨年より一億二千万円増）を

市長をかこんで 岡豊町議事堂 第2回市政懇談会

計上、水道、国保などの特別会計を合わせた市全体の予算では十億円を上廻っている。合併時の一億三千万円の赤字はこととして解消のはずであったが、予算外義務負担による事業などでできた潜在赤字が四千五百万円、また、国、県などへの地元負担金の未払い額が千百万円あり、実際に赤字のなくなるのは明後年になる見込みである。

事業

市民体育館 など建設

市民からの要望の多い市民の集会所を兼ねた市民体育館（七百五十坪）は国民年金の融資（四千百万円）により、中央高校の体育館に負けないようなものを作くりたい。笠の川の北陵中は、七月末まで

道路

支所の廃止よりまづ道路

市の行政をうまくやってゆくに、市と市民とのけ合いがうまくゆかなければならない。いままでの市政は市民と遊離している、機械的な仕事では市民は納得できない。市民と接触を密にすることが大切だ。

支所の廃止はしばしばきかされるが、廃止より道路の拡充をまず考えなければならぬことだ。市道には級別はない。道幅四メートル以上を基準としているが、むかしの町村道であったものには狭いものがある。瓶岩、上倉をのぞいた地域は、都市計画区域になつてをり、新設のときは四メートル幅にしている。

備促進五カ年計画なる構想もありこれに採り入れてもらうことにすれば有利である。

この五カ年計画では、国が半額を負担し、三分の二が補助金として交付されるので市町村道の拡充するためにもってこいである。

▼いま県政で一番大きな問題といえば、本土木連絡橋のことであり県では明石、鳴戸大橋の併設橋を推進している、これが実現す

れば県の経済は非常にちがって、土がとぎたきされているが、明石ルートの実現のため、協力してほしい。

じん茶

チリを肥料に

じん茶の処理もさることながら

ガラス、空ビンなど不用物の処置に困っている、適当な方法を考え

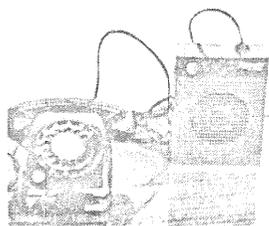
▼ガラス、空ビンの処理については善処してゆきたい、現在、豊橋三浦市などでは、じん茶のなかのガラス、空ビンは小さく砕き、金物類のみ取り除いて肥料に還元するという処理方法がとられている。

議会

正常な審議を

市議会は能率よく、正常で審議するようにいかないものか、午前十時に開会して、午後四時まで休

入組合員の増資への協力と、新規加入の申込みをのぞんでいます。



(写真は受話器とスピーカ)

の接続も実現するはこびになって

▼共同炊事に對して、気付いたことは、個人の感情を入れて口々にいわず、責任者にいつてほしい。

衛生に気を付けて

ことしも共同炊事で

ことしもまた、二期作地帯には共同炊事の時期がせまっています。そこでこのほど南国農業普及所において、市内の共同炊事の関係者を集め、いろいろ話し合い

▼衛生はまず開始前からの準備が

水質の検査
洗浄、消毒液
の備付けなど
いまから心を

▼共同炊事に對して、気付いたことは、個人の感情を入れて口々にいわず、責任者にいつてほしい。

川へチリやアクタをすてな

＝明年三月に完工＝ 公社への接続も可能 自動化される有線放送

市民に親しまれ、盛んに利用されています。有線放送では、現在、新規加入の申し込みが山積しており、それに明年五月の許可更新の時期をひかえ、老朽した施設の根本的な改修の必要にせまられています。

そこで農事放送協会は、一億五千万円程度の工費で、明年三月までに施設を近代化し、電話の自動化をはかることになりました。また、同時に前

▼衛生はまず開始前からの準備が

▼共同炊事に對して、気付いたことは、個人の感情を入れて口々にいわず、責任者にいつてほしい。